



真の多職種連携とは

先日、東京都の行政書士の方々を対象に《在宅医療の現状と問題点》について話をさせてもらう機会をいただきました。

講演内容としては、在宅医療、看取り、グリーフケア、高齢者医療と法など多岐にわたる内容を



松原 清二 医師  
在宅療養支援診療所 まつばらホームクリニック 院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症サポート医

2時間近く扱い、大変盛況に終わりました。

その後、東京都の行政書士の会長などから、行政書士の立場で高齢者を支えるためにどうされているかなどのご意見を伺う機会をいただきました。

会長さんは、お身内に認知症の方がいて、10年ほど認知症介護に関わっていたとのこと。初めの頃は認知症になったお身内に腹を立てていたのですが、やがて相手に合わせた対応をしていくようになったとのことでした。

そうして、相続でつまずくご家庭があれば、その調和を取りながら高齢者支援を行っていることや、困っている高齢者がいれば適切なご相談を案内するなど、地域密着で、具体的な解決策が取れるように心掛けているといったお話をされました。

最近では地域包括ケアシステムで街を挙げて医療、介護が関わることが謳われていますが、患者さんにとって持続可能な医療介護サービスを提供できるようにするには、それを下支える医療保険制度、介護保険制度、障害者支援制度、年金制度、後見人制度などの活用に加え、行政書士の方たちなど、医療介護以外の職種の方々の力も必要なのだと思います。

**☎ 042-439-1250**  
 西東京市東町 4-14-18-2F  
 (訪問中のため不在が多い)  
 ■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00  
 ■定休日 : 土日 (祝日は診療)  
 ■訪問地域 : 西東京市、東久留米、新座、練馬の一部

まつばらホームクリニック 検索  
 ※2018年4月、名称が「医療法人社団磯波会 まつばらホームクリニック」に変わりました  
 ↑診療相談はこちらから

